

第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調書

平成28年10月作成

指針1：家庭、保育所〔園〕・幼稚園における読書活動の推進

1 絵本の充実と整備

施 策 ・ 方 針	<p>ア 絵本購入費の確保に努め、子どもの年齢やそれぞれの発達に応じた絵本を充実し、子どもたちが魅力ある本を手に取って見ることができる環境の整備を行います。</p> <p>イ 子どもと本の出会いをより充実させるために、保育所〔園〕・幼稚園の図書館訪問や移動図書館の活用を推進します。</p>
平成 2 7 課 題 年 度	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none">・公立保育所4施設・公立幼稚園2施設では図書購入費として消耗品費の増額を行い、各施設おおむね図書10冊の購入に努めました。・私立保育園等11施設を含め17施設の購入実績は、0~10冊が7施設、11~20冊が5施設、21~30冊が3施設、31~40冊が1施設、41冊以上が4施設でした。また、今年度も、企業から保育所〔園〕15施設に約30冊ずつ寄付があり、一定の絵本の環境が整備されました。・各部屋の絵本コーナーには年齢に応じた絵本を置くとともに、他のあそびの影響を受けずじっくりと絵本を見ることができるよう、つい立てやソファの設置等各施設で環境を整える等の工夫を行いました。・子ども・子育て支援新制度により新たに市が認可した地域型保育事業実施の2施設に対して、図書館の団体貸出制度の紹介を行い、周知を図りました。団体貸し出しを利用した施設は、昨年度に比べ2施設増えました。・図書館訪問を行った保育所〔園〕・幼稚園は17施設のうち11施設で、そのうちマイクロバスを利用し図書館訪問を行った施設が1施設ありました。また、移動図書館を利用した施設は7施設でした。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none">・引き続き公立保育所・幼稚園では図書購入費の確保を行い、身近にたくさんの良い絵本がある環境作りをすすめていく事が必要です。
重 平 点 成 取 組 事 業 年 度	<ul style="list-style-type: none">・公立保育所・幼稚園の図書購入費として、各施設図書10冊分の購入財源の確保を引き続き行い、身近に絵本に触れあえる環境整備をすすめます。・各保育室に設置した絵本コーナーに、季節の絵本や保育の活動内容に関連した絵本を工夫して置き、子どもと絵本の出会いを充実していきます。・市のマイクロバスを利用し図書館利用の推進を図るとともに、団体貸出の周知に努めます。
重 平 点 成 取 組 事 業 年 度	<ul style="list-style-type: none">・公立保育所・幼稚園の図書購入費として、各施設図書10冊分の購入財源の確保を引き続き行います。・絵本との出会いを意識し、保育所〔園〕・幼稚園の行事に関連した絵本を揃えるよう取り組みます。・市のマイクロバスや遠足の機会を利用し図書館利用の推進を図るとともに、団体貸出の周知に努めます。
2 読書活動推進のための取組	<p>施 策 ・ 方 針</p> <p>ア 保育士・幼稚園教諭対象に、子どもの年齢・成長に適した選書や読み聞かせの効果的な方法等を学ぶ研修の機会をもちます。</p> <p>イ 保護者と子どもが本を介してコミュニケーションを深めるために、ブックスタート事業を継続させるとともに、保護者向けの読書活動に関する講座を開催するなど、家庭、保育所〔園〕・幼稚園への積極的支援を行います。</p> <p>ウ 市立図書館と連携し、読み聞かせ等のボランティアの活用を図るとともに、各保育所〔園〕・幼稚園でのボランティアの受入を進めます。</p> <p>平成 2 7 課 題 年 度</p> <p>実績</p> <ul style="list-style-type: none">・県内や市内で開催される絵本に関する研修会や講演会の案内を行い、積極的に参加を呼びかけ、延べ84名の職員が参加しました。・職員向けの研修を実施した施設は17施設のうち5施設、保護者向けの研修を実施した施設は4施設でした。・本年度も昨年度同様、こども支援センターかがやきとマイ保育ステーション合わせて3施設では在宅家庭の親子に絵本の読み聞かせを行いました。・ブックスタートの参加者数の向上のため、開催場所を保健センターから赤目保育所内マイ保育ステーションへ変更しました。参加親子数は405組で、わずかではありますが昨年度より参加組数が増えました。・本年度も幼児・乳児各主任会で絵本に関する情報交換を年5回実施し、年齢に応じた絵本の選び方や活用の仕方等を学び合い、保育のスキルアップを図りました。・親子読書の推進を図るために、園だよりやクラス懇談会の機会を利用し絵本の紹介を行った施設は12施設でした。・ボランティアによる読み聞かせを実施した施設が6施設から7施設と1施設増加しました。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none">・各保育所〔園〕・幼稚園での絵本の読み聞かせは積極的に推進していますが、親子読書の推進に向けた取組は、絵本の紹介に終わっている現状があります。親子読書の楽しさを伝えるための取組を工夫していくことが必要です。

重 平 点 成 取 2 組 8 事 年 業 度	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士のスキルアップを図るための研修会を年1回実施するとともに、他の機関が実施する研修の案内を積極的に行います。 ・年齢別担当者研修会では年齢に応じた絵本の選び方や保育での活用方法等学び合い、保育の質の向上を図ります。 ・園だよりやクラス懇談会を利用して年齢や発育に応じた絵本を保護者に紹介し、親子読書の推進に努めます。 ・市立図書館と連携して保育所〔園〕・幼稚園でのボランティアの受け入れを進め、読み聞かせの時間の充実を図ります。
重 平 点 成 () 取 2 組 9 事 年 業 度	<ul style="list-style-type: none"> ・親子読書の推進を図るため、地域で子育て支援に関わる子育て支援員に絵本に関連した研修を年1回行います。 ・各施設で「こども読書週間」に関連した取組を行い、親子読書の推進に努めます。 ・各施設での絵本に関する取組事例について交流する場を設け、学び合う中で保育の質の向上に努めます。

第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調書

平成28年10月作成

指針2：小・中学校における読書活動の推進

1 学校図書館の資料の充実

施 策 ・ 方 針	ア 国の平成24年(2012年)度からの「学校図書館図書整備5か年計画」に基づき、「学校図書館図書標準」達成率100%の学校の割合を、まずは、三重県平均レベルの小学校39.7%、中学校24.4%とすることを目指し、「更新冊数」も含めた資料の充実のため、図書購入費等の財源を確保していくよう努めます。
平 成 ・ 実 績 2 ・ 課 題 年 度	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none">「学校図書館活性化事業」を行い、資料を充実させ、学校図書館を「読書センター」「学習・情報センター」として機能させる等、読書活動の推進と学校図書館の充実へ向けての取組の支援を行っています。(モデル校: 薦原小、つつじが丘小、すずらん台小、名張中) <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none">平成27年5月現在、学校図書館図書標準の達成率ごとの学校数は、小学校は25~50%未満が1校、50~75%未満が11校、75~100%未満が1校、100%達成が1校でした。中学校は25~50%未満が2校、50~75%未満が2校、75~100%未満が1校、100%達成が0校で達成率は伸び悩んでいます。
重 平 点 成 取 組 事 業 度	<ul style="list-style-type: none">平成29年度末に学校図書館図書標準達成率100%の学校の割合が目標値に達するために、図書購入予算の確保等、資料の充実に向けて取り組みます。分類ごとの蔵書比率に鑑み、必要に応じて選書についてのアドバイスを行い、適切な購入を進めます。「学校図書館活性化事業」で、これまでの先進事例について広く周知を図るとともに、授業等で資料を有効に活用できるように支援を充実します。市立図書館と連携し、団体貸出の利用を進めます。
重 点 平 成 取 組 事 業 (案) 度	<ul style="list-style-type: none">平成29年度末に学校図書館図書標準達成率の向上のために、財団・民間の助成制度等の調査・活用に努めます。分類ごとの蔵書比率に鑑み、適切な購入を進めます。「学校図書館活性化事業」で、これまでの先進事例について広く周知を図るとともに、資料を充実させて魅力ある学校図書館となるようさらに環境整備を進め、授業等で活用できるように支援を充実します。授業等で多くの資料が必要な場合、学校間で貸出利用ができるシステムを作ります。市立図書館と連携し、団体貸出の利用を進めます。行かん
2 人的体制の整備	<p>施 策 ・ 方 針</p> <ul style="list-style-type: none">ア 学校図書館支援員を引き続き配置し、各学校の図書館整備と子どもの読書活動推進の支援を行います。イ 子どもと本のつなぎ手となる学校図書館の専任職員としての「学校司書」の配置にむけての検討を積極的に行います。ウ 「名張市教育センター」の機能を活用し、各学校の司書教諭等と連携しながら学校図書館の充実に向けた支援の体制づくりをすすめます。エ 司書教諭等や学校図書館ボランティアのスキルアップを目指し、研修の充実に努めます。 <p>実 績 2 ・ 課 題 年 度</p> <ul style="list-style-type: none">平成27年4月1日に学校図書館法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、学校図書館支援員を学校司書として位置づけ、3名が市内19校の小中学校を巡回して、全ての学校において図書館整備と子どもの読書活動推進の支援を行いました。6月に学校司書、学校図書館ボランティア、保護者を対象にした、「子ども読書活動推進、図書館ボランティア研修講座」を実施しました。研修会後、講師の正置友子さんにも参加いただき、第1回図書館ボランティア交流会を実施しました。9月には、学校図書館ボランティアと学校司書、司書教諭が「学校図書館の役割とその活用について」とともに学ぶ研修会を実施しました。学校図書館ボランティアの活動の充実を図るため、「学校図書館ボランティアの手引き」「〈読み聞かせ〉おすすめ2015」を作成し、第1回図書館ボランティア交流会の際に配付しました。三重県教育委員会主催の「高校生ビブリオバトル」の参加(観戦)や学校図書館協議会主催の講演会、研修会へ参加し、学校司書のスキルアップを図りました。司書教諭等と学校司書とが連携して取り組んできた、図書館資料の管理や図書館の環境整備・運営、児童生徒や教職員に対する情報サービスや読書推進活動、教科や特別活動等教育指導の支援等について、図書館教育担当者会において情報交換を行いました。(3回)平成24年度から公立小中学校に週30時間の「学校司書」をおおむね2校に1校配置する国の方針を受け、名張市でも引き続き財源確保に努めていく必要があります。

重点取組事業度 平成28年 度	<ul style="list-style-type: none"> ・県主催の研修会等に参加する等、学校司書のスキルアップを図ります。 ・学校司書が、学校図書館活性化事業モデル校4校を中心に各学校を巡回し、効率よく学校図書館活性化に向けた取組（子どもの読書量と図書館利用の増加、図書館を活用した授業の活発化等）を行います。 ・司書教諭等や学校司書、学校図書館ボランティアがともにスキルアップするために、合同研修会を年間1回は実施します。 ・広報により学校図書館ボランティアを募集し増員を図ります。 ・学校図書館ボランティアの情報交換の場を年2回設け、活動の幅を広げることに努めます。また、学校図書館ボランティアの手引きを活用し、活動の充実を図ります。
-----------------------	---

重点取組事業度 平成29年 度 (案)	<ul style="list-style-type: none"> ・県主催の研修会等に参加する等、学校司書のスキルアップを図ります。 ・学校司書が、学校図書館活性化事業モデル校3校を中心に各学校を巡回し、効率よく学校図書館活性化に向けた取組（子どもの読書量と図書館利用の増加、図書館を活用した授業の活発化等）を行います。 ・学校図書館ボランティアの増員を図ります。 ・司書教諭等や学校司書、学校図書館ボランティアのスキルアップために研修会を年間1回は実施します。 ・学校図書館ボランティアの情報交換の場を年2回設けます。また、学校図書館ボランティアの手引きを活用し、活動の充実を図ります。
------------------------------	---

3 読書活動推進のための学校の取組

施策・方針	<p>ア 小・中学校図書館のコンピュータ管理への支援、小・中学校図書館のネットワークの構築、新刊図書配置の支援、司書教諭等への支援等、学校図書館の活性化に努めます。</p> <p>イ 読書活動推進のため、保護者への啓発を学校にはたらきかけるとともに、PTAとも連携を取り、子どもの読書活動推進の大切さについて、「懇談会」「講演会」「親子読書会」など様々な機会で発信します。</p> <p>ウ 家読の推進が図られるよう支援します。</p>
-------	--

実績 平成27年度 課題	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書資料のデータベースを活用して、すべての学校においてバーコードによる貸出が実用化できました。（小学校14校、中学校5校）また、貸出密度や分類ごとの蔵書比率を把握し、学校図書館の運営や資料の充実に活かしています。さらに、学校司書と連携して、必要な資料を他校から借用し、児童生徒の学習に活かすことができています。 ・新しい本の紹介、ブックトークや読み聞かせ、夏季休業日中に学校図書館を開放し読書感想文の指導等、学校司書が授業や委員会活動に関わる取組が進んできています。（小学校5校、中学校3校） ・校内放送やポスター掲示によるおすすめの本の紹介や興味をもちそうな本を教室に配置する等、委員会活動が活性化してきました。（小学校6校、中学校2校） ・地域在住のボランティアと連携し、朝の読書時間等に読み聞かせをする取組を行いました。（小学校13校、中学校2校） ・PTAと連携し、学校図書館の環境整備や図書の充実、研修会の開催等、児童生徒の読書活動を支援しています。（小学校8校） <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うちどくのススメ」を記載したたよりを全校児童生徒を通じて家庭へ配布し、家読の推進を図りました。毎学期「としょだより」を全校児童生徒に配布し、読書活動の推進に努めています。（小学校14校、中学校5校） ・「としょだより」を発行している学校は、一昨年度は6校であったが、9校に増えました。（小学校7校、中学校2校）
--------------------	---

重难点成取2組8事業度	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年で学校図書館を活用した授業が計画的に行われるよう各学校で年間指導計画を作成します。 ・読書活動推進に資するため、各校が魅力ある「としょだより」を発行できるよう、教育センターと連携し、資料・情報の収集に努めます。 ・教育センターとして、PTA等に後援いただき保護者の研修会参加への支援を求める等、読書活動推進のための研修会、講座等を年間1回は実施します。
-------------	--

重点取組事業度 平成29年 度 (案)	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年で学校図書館を活用した授業が計画的に行われるよう各学校の年間指導計画の充実を図ります。 ・委員会活動等をさらに活性化することで、貸出密度の向上に努めます。 ・読書活動推進に資するため、各校が魅力ある「としょだより」を発行できるよう、教育センターと連携し、資料・情報の収集に努めます。 ・教育センターとして、PTA等に後援いただき保護者の研修会参加への支援を求める等、読書活動推進のための研修会、講座等を年間1回は実施します。
------------------------------	---

第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調書

平成28年10月作成

指針3：市立図書館における子どもの読書活動の推進

1 市立図書館の児童書の充実

施 策 ・ 方 針	<ul style="list-style-type: none">ア 市立図書館の全蔵書冊数に占める児童書の割合の目標値を25%程度とします。イ 保育所〔園〕・幼稚園や学校図書館への団体貸出用児童書の収集に努めます。ウ 内容が古くなったり傷みが激しくなったりした児童書を廃棄して蔵書の更新に努めます。エ 長く読み継がれて傷んできている児童書の買い替えに努めます。オ 身体の不自由な子どもたちのための点字図書や録音図書などの充実や、外国人の子どものための外国語の図書の充実に努めます。カ 以上のことと実現するための予算の確保に努めます。
平 成 2 7 年 度 実 績 ・ 課 題	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none">・蔵書冊数に占める児童書の割合 22.4%(児童書:13.0% 絵本:8.7% 紙芝居:0.6% 児童参考書:0.1%)・受入冊数に占める児童書の割合 21.5%(児童書:13.5% 絵本:7.4% 紙芝居:0.1% 児童参考書:0.4%)・平成27年度資料購入費(日本図書館協会公共図書館調査票の区分) 資料費:10,320,737円(内、図書費:9,337,184円 雑誌新聞費:1,055,279円 視聴覚資料費:27,967円) <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none">・限られた資料費の中、蔵書構成全体のバランスを考えながら児童書の充実に努める必要があります。
重 平 点 成 取 組 8 事 業 度	<ul style="list-style-type: none">・市立図書館の全蔵書冊数に占める児童書の割合の目標値に近付けるよう、児童書の購入に努めます。・長く読み継がれて傷んできている児童書の買い替えに努めます。・上記の取組が可能な予算(平成27年度図書費予算額以上)を確保します。
重 点 平 成 2 9 年 度 (案)	<ul style="list-style-type: none">・市立図書館の全蔵書冊数に占める児童書の割合の目標値に近付けることを念頭に置きながら、児童書の購入と更新に努めます。・上記の取組が可能な予算(平成28年度図書費予算額以上)を確保します。

2 人的体制の整備

施 策 ・ 方 針	<ul style="list-style-type: none">ア 児童サービスに関する専門的な知識を修得した児童サービス担当司書の確保により児童サービスに関する知識や技術の蓄積に努めます。イ 職員やボランティアの児童サービスの技術力の向上につながる研修等を年2回以上実施するよう努めます。ウ 市立図書館のボランティアや学校図書館ボランティアの他、子どもの読書活動にかかわるボランティアグループの組織化やコーディネイトを行う受入体制を整備し、市立図書館内外で活動できるよう支援に努めます。
平 成 2 7 年 度 実 績 ・ 課 題	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none">・教育センター主催の図書館ボランティア研修講座(「子どもたちと絵本の扉を開く」正置友子さん、「学校図書館の役割とその活用について」塩谷京子さん)に協力しました。・「本とあそぼう全国訪問おはなし隊」の巡回を受け入れました。(1月23日開催)・「おはなしフェスティバルin名張」の実行委員会としてイベントの運営に協力しました。・児童サービス担当司書を配備しました。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none">・研修会等を実施する体制の充実が必要です。
重 平 点 成 取 組 8 事 業 度	<ul style="list-style-type: none">・各種団体の実施する子ども読書活動推進にかかわる研修会の情報収集に努め、積極的に参加するとともに、おはなし会ボランティアへの情報提供に努め参加を促します。・関係機関と連携して、子ども読書活動推進にかかわる研修会を2回程度開催します。・図書館業務受託事業者と連携して、児童サービスに関する知識や技術を高めていきます。
重 点 平 成 2 9 年 度 (案)	<ul style="list-style-type: none">・各種団体の実施する子ども読書活動推進にかかわる研修会の情報収集に努め、積極的に参加するとともに、おはなし会ボランティアへの情報提供に努め参加を促します。・関係機関と連携して、子ども読書活動推進にかかわる研修会を2回程度開催します。・図書館業務受託事業者の選任した児童サービス担当司書を中心にして、児童への図書館サービスの充実に努めます。

3 地域における子どもの読書活動推進のための取組

施策・方針	<p>ア 子どもを対象にしたサービスの内容や催しのあり方を再検討して、更なる子どもの読書活動の積極的・計画的な推進に努めます。</p> <p>イ 保育所〔園〕・幼稚園への移動図書館巡回の拡大や、団体貸出利用の推進に努めます。</p> <p>ウ 県立高校図書館・高等専門学校図書館と連携して、ヤングアダルトサービスを展開するとともに、その計画的な推進に努めます。</p> <p>エ 子育てを支援する様々な施設で親子がくつろいで読書を楽しめる環境づくりのため、関係部署との協議を進めます。</p>
-------	--

実績 平成27年度課題	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けに図書を紹介する児童特集展示を行いました。(25テーマ、延べ展示冊数:3,557冊、延べ貸出冊数:4,732冊) ・おはなし会等を実施しました。(延べ77回、880人参加) ・子ども読書の日関連行事として拡大版おはなし会を開催しました。(4月19日開催:30人参加) ・図書館まつりを開催し、おはなし会や大型絵本の読み聞かせ等を実施しました。(8月9日開催:46人参加) ・保育所〔園〕の児童の図書館訪問を受け入れました。(延べ21回) ・第8回なばり本の帯コンクールを共催しました。(応募点数:562点) ・教育フォーラム会場及び図書館ロビーで本の帯コンクール入賞作品を展示しました。 ・ブックスタート(事業の説明、読み聞かせ)を実施しました。(384人参加) ・保育所〔園〕・幼稚園等への団体貸出冊数:1,332冊
----------------	---

重点取組事業 平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所〔園〕・幼稚園の図書館訪問を積極的に受け入れ、その機会を利用する等して団体貸出の利用を勧めます。 ・児童サービス担当司書が中心となり、おはなし会等の子ども向けの催しを実施し、子どもの読書活動の推進に努めます。 ・子ども向けの催しに共催や後援を行う等して積極的な支援に努めます。
------------------	--

重点取組事業 平成29年度(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所〔園〕・幼稚園の図書館訪問を積極的に受け入れ、その機会を利用する等して団体貸出の利用を勧めます。 ・児童サービス担当司書が中心となり、おはなし会等の子ども向けの催しを実施し、子どもの読書活動の推進に努めます。 ・児童書の特集展示を行い、子ども向けに図書を紹介していきます。
---------------------	--

4 市立図書館による学校図書館支援

施策・方針	<p>ア 小・中学校の司書教諭等や県立高校学校司書との連携を強化し、学校図書館支援のあり方を検討のうえ、具体的な実施計画を策定します。</p> <p>イ 子どもの施設見学・職場体験を積極的に受け入れ、図書館への興味を深めさせることにより、子どもの読書活動の推進に努めます。</p> <p>ウ 図書館業務受託事業者による小・中学校への学校図書館支援を継続します。</p> <p>エ 県立図書館のサービスを活用した学校図書館支援について検討します。</p> <p>オ M I L A I に参加している県立高校図書館との相互協力に努め、また、M I L A I に参加していない高等専門学校図書館との相互協力についても検討し、蔵書の効果的な活用等の連携方法の研究を進めます。</p>
-------	---

実績 平成27年度課題	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設見学(小学校7校)、職場体験(中学校4校)、高校(1校)を受け入れました。 ・小中学校への学校図書館支援を実施するにあたっては、年度初めに各学校に事前調査を行い、年間計画を策定しました。 ・小中学校の学校図書館を訪問し、ブックトークや読み聞かせ等を行いました。(訪問回数:延べ31回) ・小中学校への団体貸出冊数:2,563冊 ・県立高校への団体貸出冊数:300冊 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館業務委託の範囲内での学校図書館支援について検討が必要です。
----------------	---

重点取組事業 平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの施設見学・職場体験を受け入れ、その機会を利用して子どもの読書活動の推進に努めます。 ・学校図書館支援を実施するにあたっては、学校との連携を密にします。 ・中学校への学校図書館支援のあり方について検討します。 ・図書館教育担当者会や小中学校への学校図書館支援の機会をとらえ、団体貸出の利用促進に努めます。
------------------	---

重点取組事業 平成29年度(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの施設見学・職場体験を受け入れ、その機会を利用して子どもの読書活動の推進に努めます。 ・学校図書館支援については、学校との連携を密にして訪問メニューを確認のうえ実施します。 ・図書館教育担当者会や学校図書館支援の機会をとらえ、団体貸出の利用促進に努めます。
---------------------	--